

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 山口虎太郎

NO1

実施月日	令和5年7月4日		
実施時間	13時～14時35分		
調査先	千葉県木更津駐屯地第1ヘリコプター団		
調査所在	千葉県木更津駐屯地		
調査の目的	佐賀空港へオスプレイ配備が決定されたことにより防衛議員連盟でオスプレイ視察研修を行った。		
調査先担当者	第1ヘリコプター団長及び輸送航空隊各部隊長。		
内容・結果等	<p>【調査目的】 木更津駐屯地第1ヘリコプター団長へ表敬訪問と輸送航空隊資料館研修を行い輸送航空隊の役割を研修、その後V22の飛行距離速さの研修・概要説明を受け、FG格納庫にて地上研修、隊員の輸送、輸送物資等を現地へいかに早く届ける役割としてのV22の機能性を説明を受けた。V22のパイロットの養成が木更津駐屯地で出来るようになったこと、以前はアメリカまでパイロット養成に行かねばならなかったことなど説明され、西部方面隊への輸送航空隊の役割が今後さらに必要になるとの説明をうけた。他航空機の説明をエプロンでCH47型機他UH型EC型LR型へ搭乗体験を受けた。</p> <p>【まとめ】 なぜ今輸送航空隊の強化が必要なのか、地上の鉄路や高速道路輸送では隊員、物資を運ぶには時間がかかり過ぎる、有事の国防にはスピードが要求される、装備の近代化と輸送手段の近代化は国土防衛上必要不可欠である。西部方面隊へV22の基地に佐賀空港が選ばれたことは理解できる、さらには私見ではあるが大野原演習場や医療センター跡地が今後の防衛強化へ一役を担うことを嬉野市は働きかけるべきであると考え。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費		
	宿泊費他NO2に記載		
	合計		0

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員 山口虎太郎

NO2

実施月日	令和5年7月5日		
実施時間	10時～11時30分		
調査先	防衛省		
調査所在	防衛省(庁舎D棟6階第2省議室)東京都新宿区市谷本村町5-1		
調査の目的	佐賀空港へオスプレイ配備が決定されたことにより防衛議員連盟でオスプレイ視察研修を行った		
調査先担当者	防衛省大臣官房審議官 北尾昌也様、防衛政策局運用調整参事官 菊池哲史様他		
内容・結果等	【調査目的】1佐賀配備に係る現状、厳しさが増す我が国の防衛体制の現況、V22が佐賀空港に配備される目的やその重要性について説明を受けた。		
	2 嬉野市大野原演習場との関連、利用の有無について、利用された場合飛行ルートと演習場再整備等について各議員から意見が出された。私は自衛隊施設の課題としてあげられている防護性能がある施設は20%とすくなく防衛産業は防衛力そのものとある、この点から嬉野市が海軍病院設立の歴史的役割を担ってきた史実を説明し、今後の防衛力近代化に嬉野市へ産業や施設を考えられないか、海軍病院跡地利用を提案し歴史資料を手渡し理解を求めた。		
	【まとめ】国民の命や暮らしを守る国防の中で、まず優先すべきは外交努力、同時に裏付けとして防衛力が必要であること、近年厳しく複雑な国家安全保障環境に対峙していく近代化された防衛力の内容として反撃能力の保有、南西地域の防衛体制の強化、新領域への対応の強化等我が国の抑止力近代化の強化が必要にせまられている現状が理解できた。		
	できれば大野原演習場や海軍病院跡地を今後の防衛強化へ災害対策を含めた一役を担うことを嬉野市として働きかけるべきだと感じた防衛省への意見交換であった。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費		
	宿泊費	祐徳旅行KK(宿泊パック)	60,930
	交通費	京浜急行バス・日東交通 他	6,110
	合計		67,040

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること